

令和4年度

事業計画書

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月 31日

一般財団法人 日本経営史研究所

令和4年度事業計画

自 令和 4年 4月 1日
至 令和 5年 3月 31日

○ 令和4年度の事業計画および収支予算の概要

令和4年度の事業計画と収支予算の概要は、以下のとおりです。

全日本海員組合の『海員組合100年史』編纂事業については、すでに目次案の確定が終わり、序章～第4章の原稿は脱稿いたしました。第5章～第8章については、引き続き執筆活動を進めていきます。また英文版については、序章～第4章までの日本語原稿および英訳が完了し、海員組合のチェックを進めております。第5章以降については、本史の執筆完了を待って、英文版用の原稿作成と翻訳を進めていく予定です。さらに普及版についても、第4章までの第1次稿は完了しており、海員組合の検討と編集作業、さらに第5章以降の執筆を進めていく予定です。

『ダイキン工業100年史』につきましては、引き続きヒアリングを進めていく予定ですが、海外取材については、今後のコロナの感染状況などを見極めつつ、できる範囲で進めていくつもりです。2025年10月までに、日本語の本史とともに、英文版・中国語版を刊行する予定で、本史と並行して取材を進めています。

研究事業ならびに出版計画では、公益財団法人三井文庫とともに共同事業として立ち上げました『三井物産史の研究』につきましては、いまだに中断中で再開のめどは立っておりません。『産業経営史シリーズ』のうち、『グローバル企業』『電機産業』『自動車工業』につきましても、早期の刊行をめざして執筆者の督促などを行っていますが、コロナ禍の影響もあって大幅に遅滞しております。

経営史料センターの活動としましては、会社史の収集を継続して行ない、所蔵資料の充実に努めております。優秀会社史賞の選考は隔年事業であって、本年度は選考を行う年にあたっていますので、すでに選考委員の委嘱を済ませ、今後は選考作業を進めてまいります。収集した会社史については、内外の研究者・関係者のニーズに応えるべく閲覧に供してまいります。

日本経営史研究所が、創立以来事務局を引き受けてきました企業史料協議会につきましては、本年度も従来通りの支援活動をつづけてまいります。企業史料協議会の各種研究会も、コロナ禍の影響でリモート形式の研究会をするなど、さまざまな工夫によって活動を展開しています。日本のビジネスアーカイブズは、今や国際的にも国内的のものも関心を持たれるようになっており、いっそうの協力・支援を行なう所存です。

本年度の収支予算は、添付の収支予算書のとおりを見込むことになります。

令和4年度の研究・出版事業および会社史等の編纂受託事業は以下のとおりです。

1. 研究・出版事業

1) 産業経営史シリーズ

* 『グローバル企業』『電機産業』『自動車産業』 (継 続)

2) 『三井物産史の研究』 (中 断)

2. 会社史等の編集受託

1) 『海員組合 100 年史』(仮題) (継 続)

同 普及版 (継 続)

同 英文版 (継 続)

2) 『ダイキン工業 100 年史』(仮題) (継 続)

同 英文版・中国語版 (継 続)